



英知・総力集めて

原発汚染水 危機打開を

日本共産党の志位和夫委員長は9月17日、国会内で記者会見し、「福島第1原発の放射能汚染水の危機打開のための緊急提言」を発表。原発への態度や将来のエネルギー政策の違いを超え、「政府、すべての政党、科学者、技術者、産業界の英知と総力を結集することが緊急かつ最重要の課題」と提起しました。



緊急提言の柱


- ①「放射能で海を汚さない」ことを、基本原則として確立する
- ②放射能汚染水の現状を徹底的に調査・公表し、「収束宣言」を撤回するとともに、非常事態という認識の共有をはかる
- ③再稼働と原発輸出のための活動をただちに停止し、放射能汚染水問題の解決のために、もてる人的・物的資源を集中する
- ④東京電力を「破たん処理」し、「コスト優先・安全なおざり」を抜本的にただす

提言の全文は→ [共産党 汚染水打開提言](#) 🔍



福島第一原発の写真

安倍首相 原発視察後も 「汚染水ブロック」



安倍首相は9月19日に福島第一原発を視察した後、国際オリンピック委員会総会で行った虚偽説明を繰り返し、汚染水の影響は「湾内の0.3平方キロメートル以内の範囲において完全にブロックされている」という認識を変えませんでした。

●真実がわかる 明日が見えるー「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）